

6月 防犯たかやしろ通信

発行
高社交番
草間・西澤
☎23-5110



夏の水難事故防止！！

水難事故は、例年6月から8月にかけて多く発生しています。特に、魚釣りや水遊び中に溺れたり、ボートから転落するなどの事故が後を絶ちません。

過去には、子供のみで川遊び中に流されたり、レジャー中のカヤックが転覆するなどして、死亡する事故が発生しています。また県外の海で遊泳中に溺水する事故も発生しています。

～水難事故に遭わないために～



● 子供から目を離さない

過去には、親や保護者が付近にいながら、子供から目を離した際に、池等に転落する事故が発生しています。

子供は活動的で常に動き回ることを念頭に、子供を遊ばせる時は、周囲に危険箇所がないかを確認、手と目の届く範囲で遊ばせましょう。

● 魚釣りや水遊びは複数で

一人で魚釣りや水遊びに出掛けると、万が一水難に遭った際に助けを呼ぶことができません。

なるべく複数人で出掛けるとともに、ライフジャケットを着用しましょう。

また、子供だけで遊んでいる場合は、周囲にいる人が注意してあげましょう。



● 危険箇所の点検を

普段は干上がっている河川敷でも、局地的な豪雨によって短時間で水位が上昇する場所があります。

各家庭や地域等で、危険箇所を点検するとともに、危険箇所の管理者に事故防止施設の設置を要望するなど、安全対策を講じましょう。